

置賜広域病院企業団 公立置賜総合病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先に連絡ください。

受付 No.	No.425
研究課題名	リアルワールドデータを用いた産科出血への最適なIVR治療法確立に関する多施設共同研究
当院の研究責任者 (所属)	放射線科 医長 東野 太樹
他の研究機関及び各施設の研究責任者	岐阜大学医学部附属病院 放射線科 川田 紘資
本研究の目的	本研究は産科出血に対するIVR治療が妊産婦の救命、子宮温存にどの程度寄与しているかを明らかにすることを主な目的としています。本邦における産科出血に対する現状として、患者搬送や治療法に地域間格差があること、少数ですがここ数年妊産婦死亡数に増加傾向が見られ、現状の把握とそれに基づく問題点の同定・改善が必要となっています。これまでにIVR治療が実施された多数例のリアルワールドデータを解析し、現状の把握・問題点の抽出を行うことによりエビデンスを明らかにし、その結果を踏まえて新たな治療プロトコールを確立することを目的としています。
調査データ該当期間	2015年1月1日～2024年12月31日の間に、当科において産科出血に対する血管塞栓術を受けられた方
研究の方法(使用する試料等)	<p>◆利用する情報 上記期間の電子カルテに記載のある下記項目</p> <p>【塞栓術開始前の検査・評価項目】 患者年齢、妊娠の特徴、過去の出産時の経過、出産方法、出産補助手技の有無、産科出血の原因、事前治療、出産からの時間、搬送方法、採血結果、Vital sign、出血量、各種輸血量、DICの有無、塞栓術の適応判断</p> <p>【塞栓術に関する検査・評価項目】 Vital sign、採血結果、血管造影所見、塞栓血管、塞栓物質、手技時間、標的血管塞栓成功の有無</p> <p>【塞栓術後に関する検査・評価項目】 入院期間、採血結果、再塞栓術施行の有無とその理由、最終的な出血量、子宮摘出の有無とその理由、追加処置の有無、研究期間</p>

	中に判明している再妊娠の有無、死亡の有無と原因
試料/情報の 他の研究機関への提 供及び提供方法	岐阜大学医学部附属病院 先端医療・臨床研究推進センター データサイエンス部門に設置され、管理される Electronic Data Capture (EDC) システムへの入力
個人情報の取り扱い	本研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究の実施に関する倫理指針」及び適用される法令を遵守します。また、個人が特定されないよう加工したうえで EDC システムへ登録します。
本研究の資金源 (利益相反)	研究者及び共同研究機関に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。
問い合わせ先	電話：0238-46-5000（病院代表番号） 担当者：放射線科 医長 東野 太樹 ※病院代表番号から医局へ電話を転送します。 用件を伝えていただきますと、折り返し担当者より連絡いたします。
備考	本研究は後ろ向き研究であり、新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら上記問い合わせ先までご連絡ください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、2028年3月31日までに上記問い合わせ先までお申し出ください。